

【平成 27 年度・前期学期・ミクロ経済学 I・課題 5】

☆ 平成 27 年 7 月 14 日講義開始時

【問 1】ある市場において、需要関数と供給関数が次のように与えられている。これについて後の設問に答えなさい。ただし、 P は市場価格 Q_s は供給量、 Q_d は需要量である。

供給: $Q_s = 3 + P$

需要: $Q_d = 18 - 0.6P$

- (1) この市場の様子を、経済学の慣行に従って座標軸を定め、図に描きなさい。
- (2) この市場の市場均衡を求めなさい。
- (3) 市場均衡における需要の価格弾力性（点の弾力性）を求めなさい。
- (4) 上で求めた均衡点について、需要は価格弾力的であるか非弾力的であるか判定しなさい。
- (5) また $P=24$ と $P=4$ の時の需要量を需要関数から求め、需要関数上の各点での需要の価格弾力性を求めなさい。それぞれの点で、需要は価格弾力的かそれとも非弾力的か判定しなさい。

【問 2】次の場合の図を描きなさい。

- (1) 需要関数が、完全に価格非弾力的で、供給が通常の傾きをもつ場合。
- (2) 需要関数が、完全に価格弾力的で、供給が通常の傾きをもつ場合。
- (3) 供給関数が、完全に価格非弾力的で、需要が通常の傾きをもつ場合。
- (4) 供給関数が、完全に価格弾力的で、需要が通常の傾きをもつ場合。